



## アブシンベル神殿

冬休みの1月5日～8日に、エジプト国内の**アブシンベル、アスワン、ルクソール**を旅行してきました。この三都市は**北回帰線付近**に位置し、冬でも日中は長袖シャツ1枚で過ごせる暖かさです。それでも砂漠気候なので、朝と夜は上着が必要なくらい冷え込みます。

今回は、カイロから飛行機でアスワンに行き、クルーズ船（ホテル）に泊まりながらルクソールまでナイルクルーズを楽しみました。カイロからアスワンまで飛行機で約1時間30分です。アスワン到着後すぐ、ナイル川に停泊しているクルーズ船に行きチェックインし、それから車でアブシンベルに向かいました。**砂漠の中の舗装された道をひたすら3時間走り続けます。見わたす限りの荒涼とした風景が続きました。**

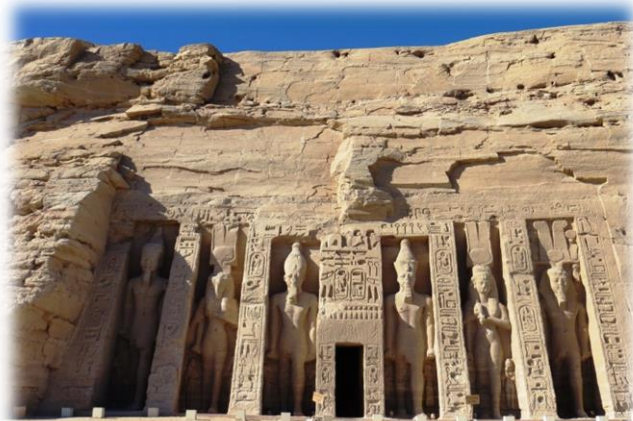
**アブシンベルは、アスワンから約280km**にあり、**アスワンハイダム**によってできた**ナセル湖**のほとりにあります。エジプトの南隣の国、スーダンまで数十kmです。有名な**アブシンベル神殿**は、アスワンハイダムの建設により水没の危機に瀕しましたが、ユネスコの救済キャンペーンにより、神殿をブロックに切って60m上に移動させました。神殿は、大神殿と小神殿の2つあります。2つの神殿



アブシンベル大神殿

は、**古代エジプト新王国時代第19王朝のラムセス2世が建設**しました。今から、**約3300年前**です。大神殿の高さが20mのラムセス2世4体を見上げると、強大な権力をもっていたことが実感できます。台座には、**シリア人やヌビア人（エジプト南部地方の人々）の捕虜**が、縄でつながれているようすがレリーフに描かれています。神殿内にも、オシリス神の姿をした高さ10mのラムセス2世の立像があったり、至聖所（神々が祀ってある）があったりし、素晴らしい彫像やレリーフがたくさんありました。

小神殿は、**ラムセス2世が王妃ネフェルトアリのために建設**されました。ラムセス2世が4体、ネフェルトアリが2体立ち並んでいます。古代エジプトのラムセス2世の強さ、神殿の素晴らしさに言葉を失いました。



アブシンベル小神殿